

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	自由界面のトリガー効果に基づく高分子膜の増幅的変換プロセスの創出
研究代表者	関 隆広（名古屋大学・大学院工学研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、高分子膜の自由界面を起点とする膜の構造・形態の変化に関する諸現象の探索・理解と体系化を進めようとするものである。これまで応募者は、世界に先駆けて、表面光配向や表面物質移動に関する国際的に評価の高い研究成果を発表している。本研究は、これらの研究成果に裏付けされ、液晶やアモルファス高分子に関わる新しい変換や光機能の創出を、化学的及び物理的の両面からのアプローチにより行おうとするものであり、十分な成果が期待できる。したがって、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>